

どつぞう！ 見て知って

®



片方の前足を上げてすわる猫の置物「招き猫」。客を呼ぶとして商店の店先などに置かれています。その始まりにはいろいろな説があり、その一つが東京都世田谷区の豪徳寺の言い伝えです。

招き猫 (東京都世田谷区)

時は江戸時代の初め。彦根藩(今の滋賀県彦根市など)の藩主、井伊直孝が、タカガリの帰りに、さびれた寺の門前で猫に手招きされたように思い、寺に立ち寄りしました。
すると、急なかみなりと

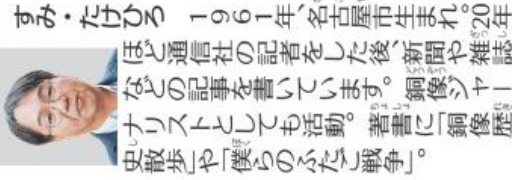
神戸新聞 2024年09月29日 日曜日 面名 教育A 13 16ページ

ひこにゃん元をたどると

招福殿前には招き猫の銅像も。ただし、銅像なのでよく見かける招き猫の多くは胸に小判を持ち、上げている足は右、左のどちらもありますが、豪徳寺の招き猫は小判を持たず、右前足を上げた白い猫。今では招福殿横におとずれた人々が納めた大量の招き猫が並びます。

寺では福をもたらしたこの猫の人形を作り、「招福猫児(まねきねこ)」と呼び、「招福殿」を建てました。このため「猫寺」とも言われました。

雨。猫のおかげで助かったと感謝した直孝が寺を建て直しました。直孝の死後、寺の名を豪徳寺に変えたと伝わります。



すみ・たけひろ 1961年名古屋生まれ。20ほど通信社の記者をした後、新聞や雑誌などの記事を書いています。銅像ジャーナリストとしても活動。著書に「銅像歴史散歩」や「僕らのぶたご戦争」。

豪徳寺は井伊家の祖先をとむらう大きな寺となり、直孝、Bから歴代藩主の墓もあります。
彦根市の人気キャラクター「ひこにゃん」は赤いかぶとをかぶった白い猫。豪徳寺の伝説とDにちなんでいます。
(文と写真・墨威宏)

直孝の父、Aは徳川家康に仕えた徳川四天王の一人。Aの軍団はよろいなどを赤色でそろえた「赤備え」で知られました。井伊家は江戸幕府の歴代将軍を支え、幕末のBは幕府大老として日米修好通商条約を結び、Cで暗殺されたことで有名です。

白くはありません。

上の記事を読んで、下の問いに答えましょう。

1 空欄A Bに入る名前を、次の中から選び、記号で書きましょう。

ア 直虎 ① 直政 ㊦ 直弼(なおすけ)

A	B
---	---

2 空欄Cに入る、6文字の言葉を書きましょう。

--	--	--	--	--	--

3 空欄Dに入る、3文字の言葉を、本文中から抜き出して書きましょう。

--	--	--

NIEワークシートのこたえ（2024年9月30日公開）

◆ワークシート「招き猫の始まり(社会)」
2024.9.29付 朝刊 週刊まなびー16面 解答

1 A イ B ウ

2 桜田門外の変

3 赤備え